

道徳 手話講師による講話会

厚木市立藤塚中学校

単元（題材）目標

- 講師の人生や仕事，生活，社会貢献活動等に触れさせ，『生き方』や『考え方』を学び，より良いかつ豊かな生き方とは何かを考えさせる機会とする。
- 障がいに関する理解を深めるとともに，生命の尊さを理解し，かけがえのない自他の生命を尊重する意識を養う。

(1) 実施時期 6月下旬

(2) 対象（学年等・人数）

第2学年1学級33名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：2年該当学級担任 1名

外部講師：厚木市聴覚障害者協会

厚木市手話サークル あゆの会 2名



(4) 実施内容

①講話：「聴覚障がいについて」

日常生活の中で耳の聞こえないことがいかに大変かについて，またコミュニケーションツールとして手話の理解を深めることの意義について，2名の方から事例を交えながらの話をうかがう。

②手話体験：学級で手話実践

・講師2名（手話サークルの方），学級担任1名による指導

・簡単な会話（あいさつ，自分の名前等），手話に関する基本的知識，指文字による五十音の表し方等を教えていただき，生徒は手話を使って簡単な自己紹介等を体験した。

(5) 成果

○学級担任に手話に関する知識や技能が少なからずあるため，日常的に手話に触れる機会には，比較的恵まれていたが，より専門的な知識や技能に直に触れたことで今まで以上に実感を持って手話を多面的・多角的に理解することができた。

○手話を使ってのコミュニケーションによりいっそう関心が高まり，生徒の会話からは機会があったら実際に使ってみようという意欲の高まりを感じることができた。

(6) その他

○当該学級以外の学級も別の分野で活躍していらっしゃる方々をお招きして，お話をいただいた。

○本校ホームページにて，活動の様子を紹介した。